

The 8th Annual Meeting of Japanese Society of Ophthalmic Plastic and Reconstructive Surgery

第8回日本眼形成再建外科学会

PowerPointを使用した動画作成マニュアル

目次

最低限必要な機能	P. 3
注意事項	P. 4
録音時のポイント	P. 5
Windows マイクの確認方法	P. 6
Windows PowerPoint2019/Office 365の場合	P. 7
Windows PowerPoint2013の場合	P. 12
Mac マイクの確認方法	P. 16
Mac PowerPoint for Mac 2019の場合	P. 18

最低限必要な機能

1. 音声入力ができる環境

- ・ PC内蔵マイクを使用すると設定が簡単ですが、ノイズの影響が大きくなります。ヘッドセットなど、外付けマイクの使用を推奨します。

2. 特定のバージョンのPowerPointを搭載していること

- Windowsの場合→ PowerPoint 2010, 2013, 2016, 2019, Office 365 のいずれか
- Macの場合→ PowerPoint for Mac 2019, Office 365 のいずれか

<推奨> Windows 版：2016/2019/Office 365 Mac 版：2019/Office 365

注意事項

セッションの種類	動画の長さ	スライドサイズ	提出いただくデータ
特別講演、教育講演、シンポジウム	既にご案内済みの時間をご参照ください	標準（4：3） ワイド（16：9） どちらでも可	ファイル形式：「MP4」 データ容量：1演題につき 900MBまで
一般講演	7分		

- ・ ファイル形式：パワーポイントに音声を吹き込んで動画形式（MP4）のものを作成いただきます。
- ・ 動画ファイルは上記の対象となるセッションの「動画の長さ」以内にまとめてください。動画ファイルの作成には、作成する動画の長さと同程度の時間を要します。
- ・ 非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれてしまいます。
プレゼンで使用しなかったスライドや、動画に入れたくないスライドは、削除もしくは非表示スライドに設定してください。
- ・ 作成後、音声やアニメーション、動画が正しく再生されているか、必ずご自身でご確認ください。
- ・ 作成いただいた動画ファイル（MP4）は、運営事務局にご提出いただきます。データの提出方法（Web提出システムのURL）はメールにてご連絡いたします。

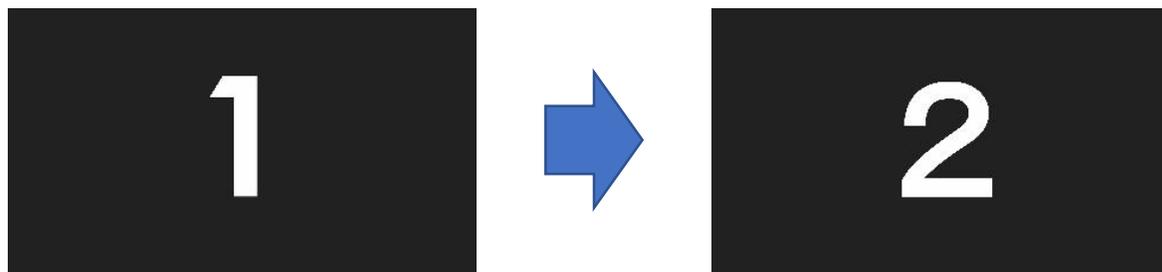
<お問合せ先>

第8回日本眼形成再建外科学会 運営事務局 株式会社コングレ内
E-mail: jsoprs2020@congre.co.jp

録音時のポイント

◆次のスライドに行く前に一呼吸

PowerPointの録音は各スライドごとに別の録音データになります。そのため、話をしながらスライド切り替えをしてしまうと、その時の音声途切れてしまうことがあります。次のスライドに進む際は、一呼吸おき、一瞬でも構いませんので、何も録音しない余白を作るように意識していただくのがおすすめです。



スライド切り替え時もずっと話続けてしまうと
次のスライドへ切り替わる間の録音は消えてしまうことがあります



✗ スライドが切り替わるたびに
唐突に音が途切れてしまい
質の悪いデータとなってしまいます。

スライド切り替え時は一呼吸おいていただくと

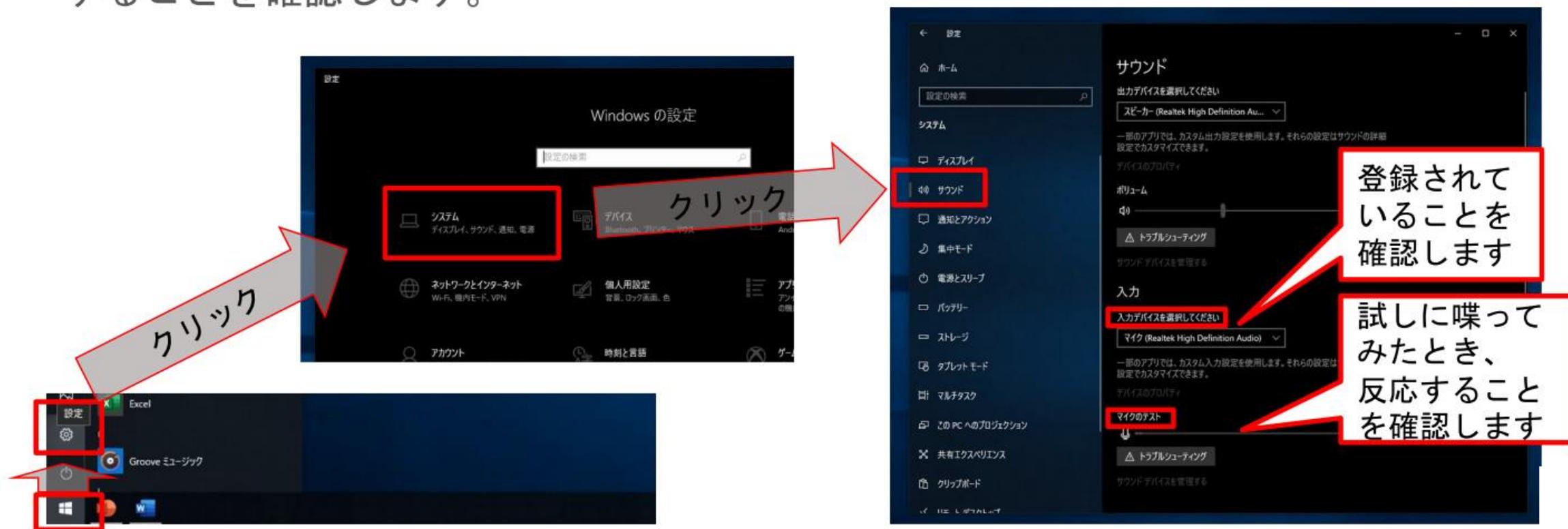


○ 聞き取りやすいデータになります。

※なるべく一度で録音を終了してください。（修正すると、切り替えのポイントに不具合が起こる場合があります）
録音をしておいた場合は切り替えのポイントにずれが無いかな必ず確認してください。

Windows マイクの確認方法

「スタート」>「設定」>「システム」>「サウンド」と選択し、入力デバイスが登録されていることを確認します。「マイクのテスト」では試しに喋り、反応することを確認します。



Windows
PowerPoint2019/Office 365の場合
動画作成の手順

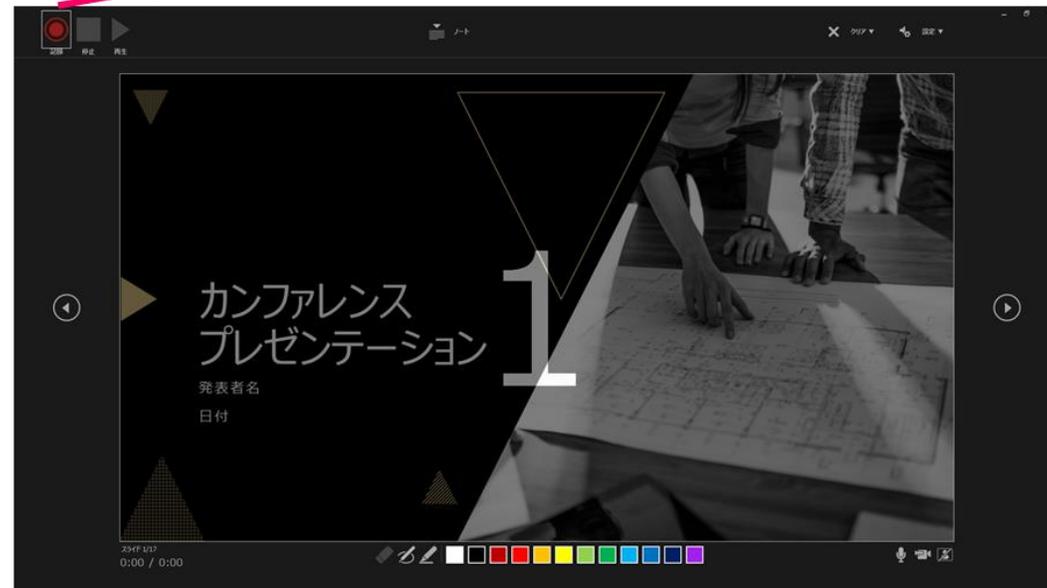
① [スライドショー]
タブをクリック

② [スライドショーの記録]をクリック

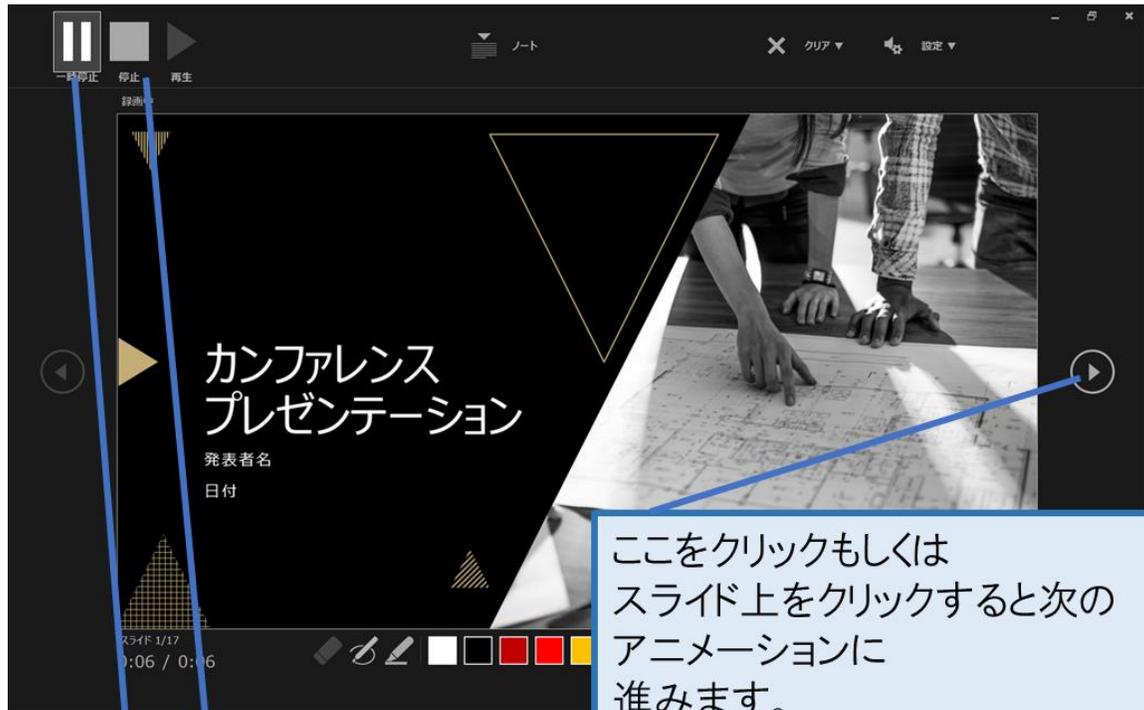


③ [先頭から録音]をクリック

④ [記録の開始]をクリック



⑤ マイクに向かってナレーション録音
スライドも任意のタイミングで進める

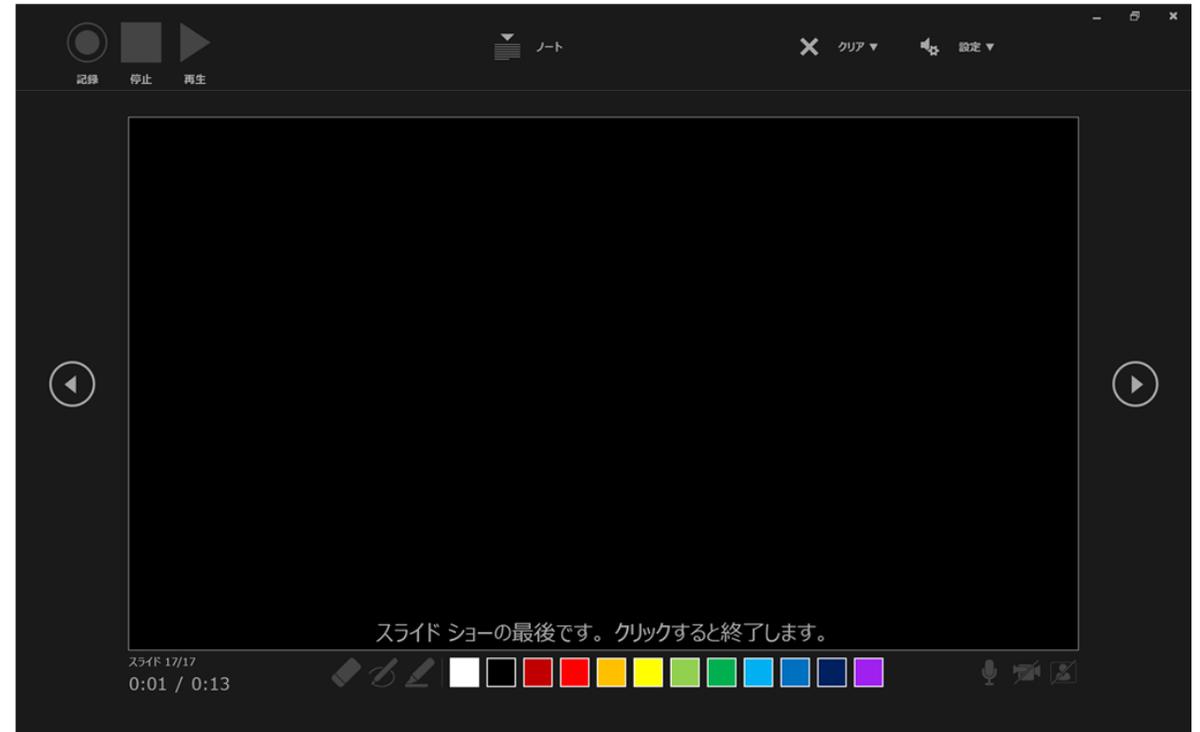


ここをクリックもしくは
スライド上をクリックすると次の
アニメーションに
進みます。

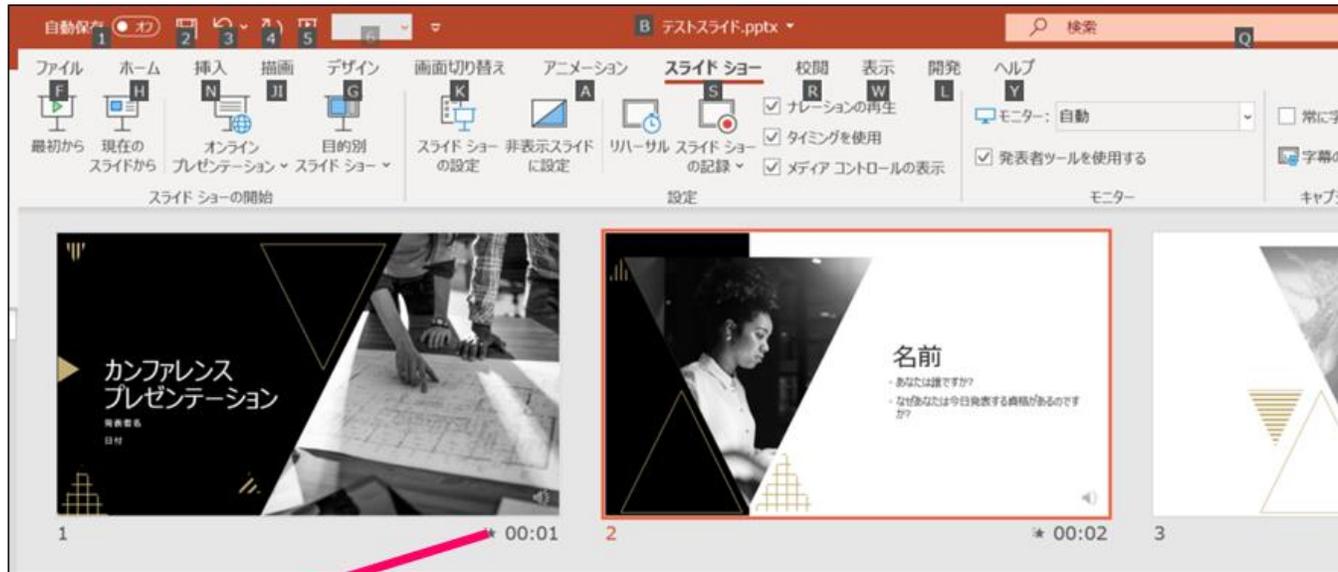
[記録の停止]をクリックすると
そこまでの記録が残ります

[記録の一時停止]をクリック
すると、再生中のアニメーションが止まります

⑥ 下記画面まで進めると自動的に録画が停止になります。
スライドをもう1枚進めると元の画面に戻ります。



スライドショーの最後です。クリックすると終了します。

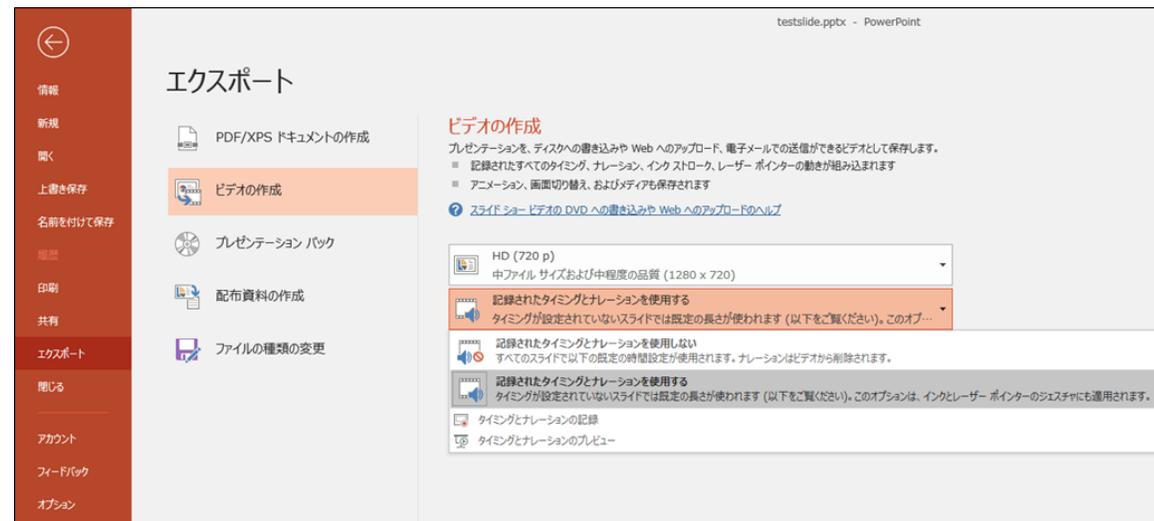


- ⑦ スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

⑧ スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]
で書き出します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MP4形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。**20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。**

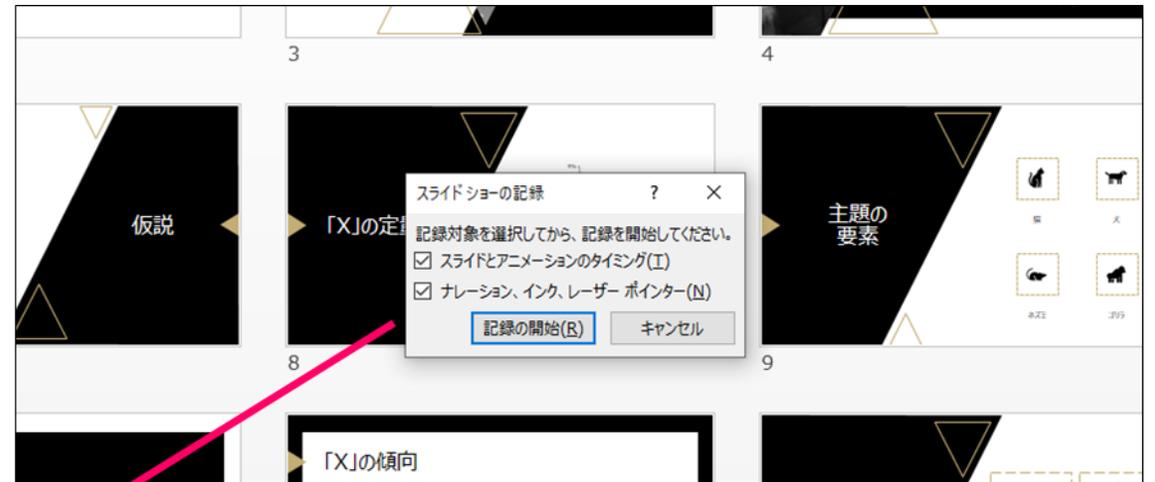
Windows
PowerPoint2013の場合
動画作成の手順

① [スライドショー] タブをクリック

② [スライドショーの記録]をクリック

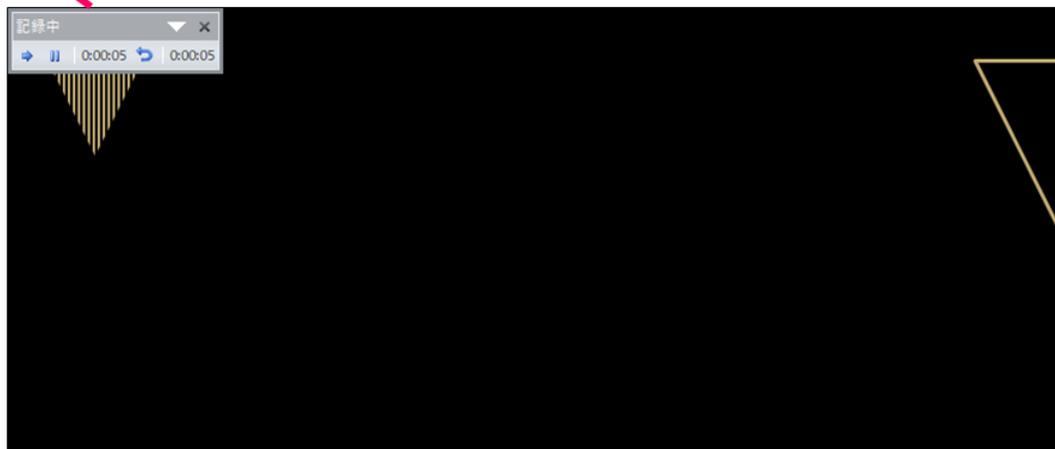


③ [先頭から録音を開始]をクリック



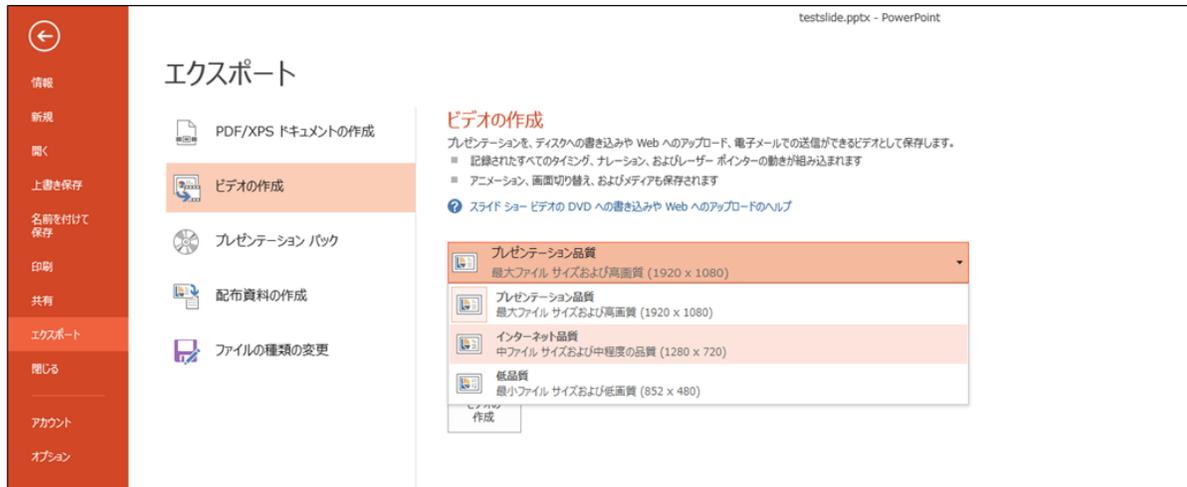
④ [スライドショーとアニメーションのタイミング] [ナレーションとレーザーポインター]のチェックが入っていることを確認して記録の開始

⑤ 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める



⑥ スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

⑦ スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]
で書き出します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



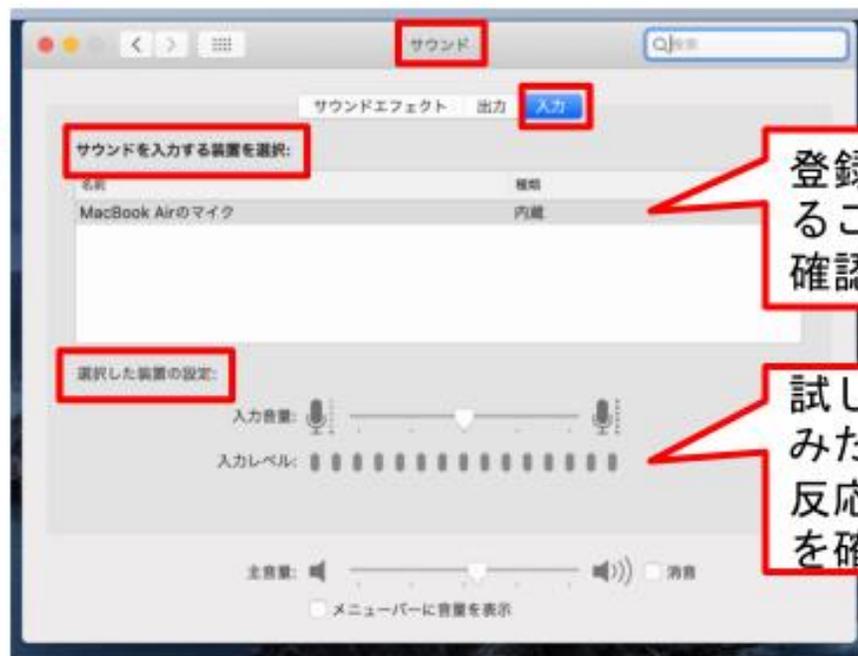
[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式ではMP4形式を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。

Mac マイクの確認方法

「システム環境設定」>「サウンド」>「入力」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。「選択した機器の設定」では試しに喋ったときに反応するか確認します。



PowerPointでのマイク入力の確認

「システム環境設定」>「セキュリティとプライバシー」>「プライバシー」>「マイク」を選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認します。



Mac
PowerPoint for Mac 2019の場合
動画作成の手順

PowerPointでの録画の準備

PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されているのを確認します。「スライドショー」>「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録画が開始します。

クリックすると画面が切り替わり録画が開始する

1枚目が選択されている状態であればOKです。

カーソルを合わせたとき、「先頭から録音を開始」という注釈が現れることがあります。

0:01 23:01 次のスライド

ショックとは
末梢血圧降下により、
脳・臓器の虚血状態を引き起こし、
代謝障害や臓器障害が起こる数分的な状態。

ノートを入力

1/9

Shockについて

ショックとは
末梢血圧降下により、
脳・臓器の虚血状態を引き起こし、
代謝障害や臓器障害が起こる数分的な状態。

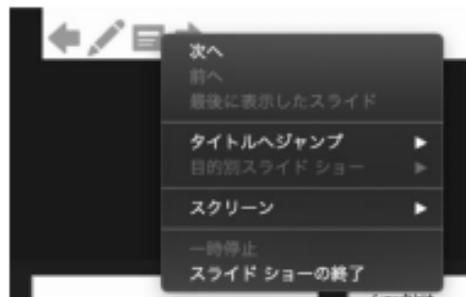
Shockについて

末梢血圧降下により、
脳・臓器の虚血状態を引き起こし、
代謝障害や臓器障害が起こる数分的な状態。

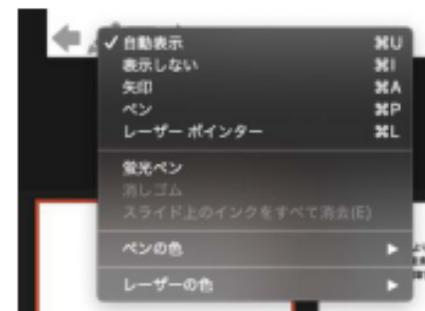
スライドショーの実施

いつも通り、スライドショーを行ってください。ペンやポインター等も使えますが、最終的に動画で記録されるのは、スライド移行のタイミングと音声のみです。また、前のスライドに戻ると、戻ったスライド以降の録音を取り消されることに注意してください（前のスライドに戻るの**は推奨しません**）。

記録中も、左下のスライドショーツールバーから、一枚目または一個前のスライドに戻れます。ただ、戻るの**は推奨しません**。



左下のツールバーからペン、蛍光ペン、ポインターが使えますが、これらについては記録されません。



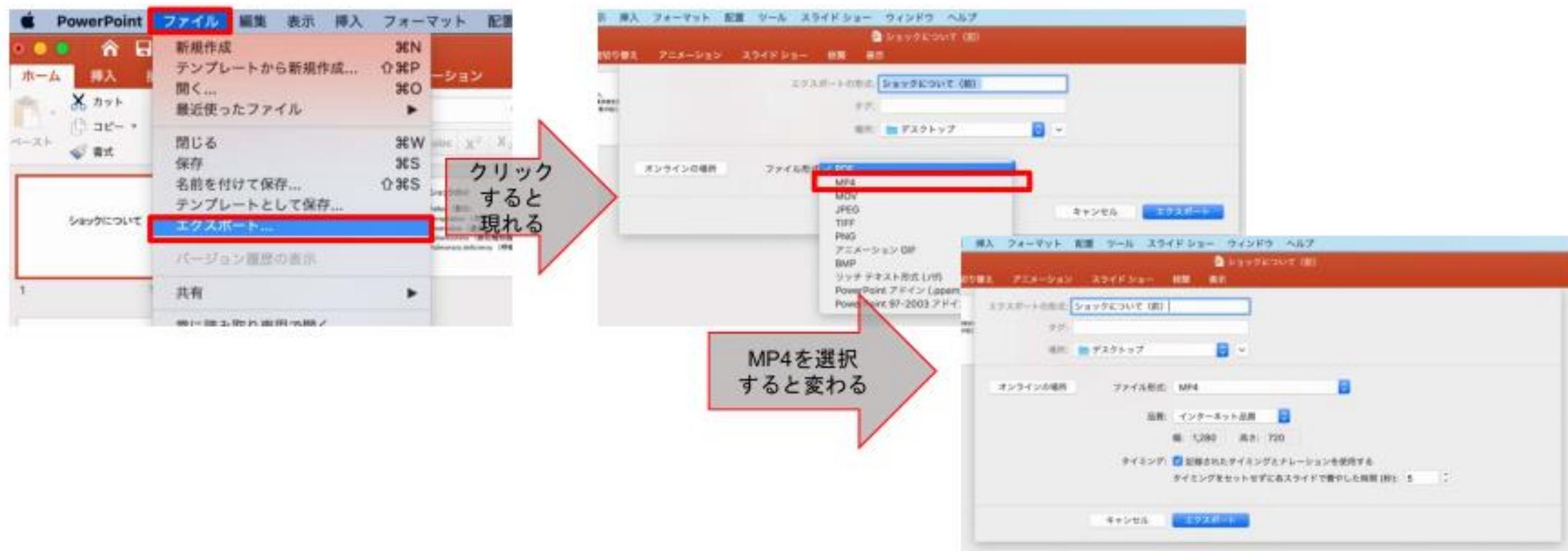
スライドショーの終了

スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると、「今回のタイミングを保存しますか？」という質問が現れるので、「はい」を選択します。



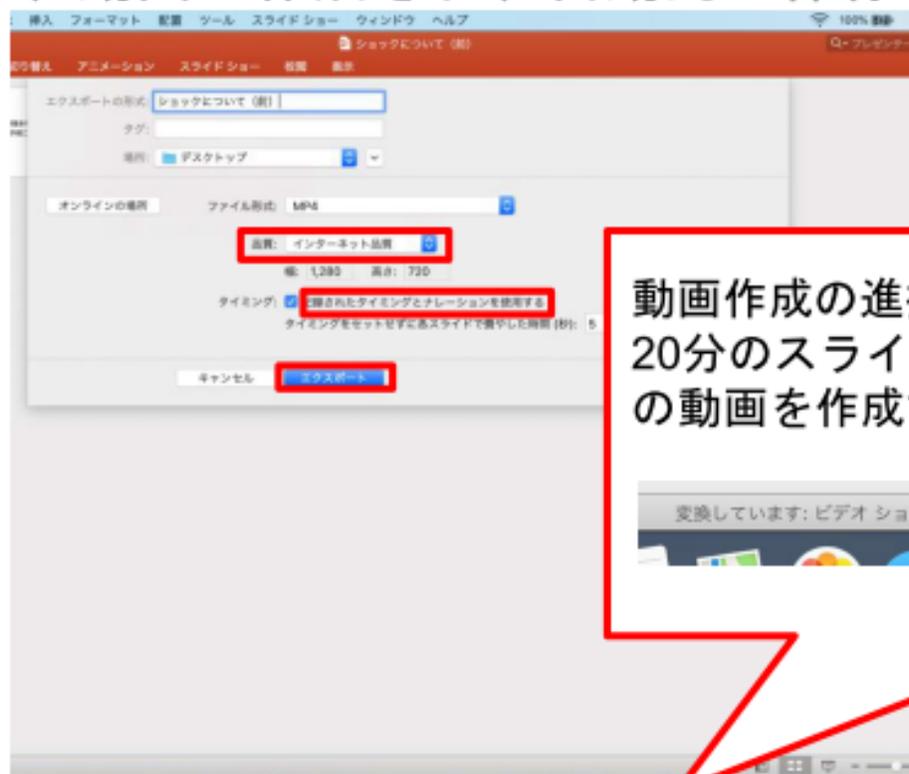
保存先の選択

「ファイル」>「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式でMP4形式を選択すると、詳細が設定できるようになります。



画質の選択、動画作成と保存

品質は「インターネット品質」を選択し、「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。



動画作成の進捗は、右下に表示されます。
20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)
の動画を作成するのに約10分かかります。